



福井県立坂井高等学校

マイスター通信

「マイスター・ハイスクール事業」における 各コースの取り組み

昨年度に引き続き、今年度も活動内容について定期的に配信していきます。今回は、以下の内容でお届けします。

- ① 1年目の活動振り返り
- ② 2年目の研究方針について

■ 農業コース

- ① 竹田文化共栄会森づくり子ども会議との連携ではじめて自生地へエチゼンダイモンジソウを移植することに成功。保全区を校内に設置。アゼオトギリの苗を作成し、板倉みどりクラブと連携。



エチゼンダイモンジソウの状況確認

- ② 竹田文化共栄会森づくり会議との連携を強化。保全区に自生地を再現するための水循環装置を開発する。アゼオトギリの訪花昆虫を調べ、確実な苗作りの方法を確立する。

■ 食品コース

- ① 坂井市と連携し、地域の特産品開発と食品ロスを掛け合わせた商品開発。トマトやイチゴなどの規格外品を利用した商品を開発し、坂高マルシェで販売した。地酒「淵龍」再興プロジェクトにて製造時に出る酒粕を活用した商品を開発。イベントで販売。



地酒（淵龍）の酒粕を活用した開発加工品のお披露目・販売会

- ② 1年目に開発した商品に付加価値を持たせるべく、栄養素を高めた商品開発や、成分検査を行っていく。福井県民生協様の施設を見学し、衛生面の向上に向け、HACCPに関する取り組みを昇華させる。

■ ビジネスコース

- ① ECサイト「坂井高校 SHOP」を構築して、農業コースの栽培した安納芋を使った和洋菓子を(株)五月ヶ瀬様に提案し、贈答用菓子セット「よつばのおくりもの」を予約販売した。地元観光資源を調査して動画編集を行い、ふるさとCMコンテスト入賞につなげた。



五月ヶ瀬試食

- ② 坂井市に修学旅行で訪れる首都圏の中学校と地域振興の協働学習を行う。旅行代理店を通じてシニア層向けのふるさと納税返礼品を商品化。また、食農科学科との学科間連携を行い、本校産の農作物や加工品の販売促進活動を行う。

■ 生活デザインコース

- ① 坂井市からの依頼で、「ふくい甘えび」を活用した「Sea 級グルメ」のレシピ開発。開発したメニューの試食会を市役所で行った。



試食会で披露されたレシピ

- ② 坂井市との連携を継続。昨年度中止された「Sea 級グルメ」の全国大会に向け、レシピの改良。各種イベント等での披露を通して、坂井市を代表するグルメを作る。

「マイスター・ハイスクール事業」文部科学省指定校
生徒がDXを中心とする次世代の産業人に育つために、
知見を広げ地域企業人としていかに生きていくかを学び、
考えるパイロットプログラムです。

地域のみなさまへ

お気付きの点をお聞かせください！
坂井高校マイスター事務局
TEL:0776-66-0268
FAX:0776-66-2669

坂井高校 HP



Vol. **06**
2022.8.1

■ 機械コース

- ① NPO 法人今庄旅籠塾様と連携し、お菓자에印を付けるための焼き印を製作した。打ち合わせを重ね、利用者様が使いやすくなるよう、一般的な炙るものではなく、半田ごてを流用した焼き印を製作し納品した。



完成した焼き印の納品

- ② 「丸岡城天守を国宝にする市民の会 城小屋マルコ」様から焼き印製作の依頼があり、打ち合わせを行いながら製作を進めていく。その他にも、新聞を閲覧する書見台を作成。地域に還元していくことを念頭に取り組んでいく。

■ 自動車コース

- ① 普及が進むドローンについて、適切な知識と技量の習得のため、「国土交通省ドローン情報基盤システム」の申請基準に達する、坂井高校独自の操作技術講習会を実施。

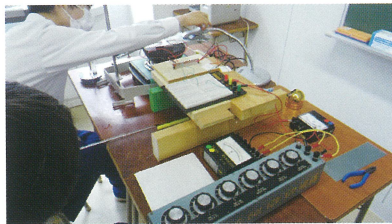


ドローン操作の練習

- ② 国土交通省無人航空機飛行許可申請ができる人材育成を目指す。ドローンの操縦、気象、電波に関する筆記試験・操縦技能試験等を実施する。

■ 電気コース

- ① 芦原温泉にある「芦湯」にある2つの源泉の温泉熱ポテンシャルを計測した。両源泉とも、熱交換機やヒートポンプとしての利用が可能なポテンシャルであった。ペルテクス社様と情報交換を行った。



ペルチェ素子による発電実験

- ② 購入したペルチェ素子やスターリングエンジンにより、実験回路を作成し芦湯に設置することにより実際のデータを収集する。スマホ充電用の装置やLEDを用いた照明器具の構成と現地における設置を実現する。

■ 情報システムコース

- ① 坂井市役所内で利用できるコミュニケーションツールを開発・納品した。



坂井市役所でのアプリ実演

- ② 情報システムコース・ICHIGOOJI (いちご王子)・株式会社 Root が連携して、スマート農園システムを見据える。その一環として株式会社 Root の技術指導で、農薬の在庫管理システムを開発する。

6月22日(水) 課題研究交流会を開催しました

他コースの生徒の研究内容等を知り、自分の研究に活かすことを狙いとして、今年度初めて実施しました！
見学時間は1時間しか確保できませんでしたが、『大変貴重な経験になった』という声が多数聞こえてきました。
普段は感じられない他のコースからの刺激を、これからの課題研究での取り組みに活かされるのを楽しみにしています。
次号でさらに詳しく取り上げる予定をしていますから、乞うご期待ください。